

キャッシュレスと消費生活

■ さまざまな決済方法

近年、新しいお金の支払い方が登場しています。電子マネーやクレジットカードなど、現金を使わず支払うことを「キャッシュレス」といいます。キャッシュレスによる決済は便利ですが、手元のお金が無くならない分、お金の管理が難しくなります。いくら使っているか、いくら残っているか、お金を管理する力が必要です。



● 主なキャッシュレス決済の特徴

前払い

- プリペイドカード
 - 電子マネー
(交通系・流通系ICカードなど)
- あらかじめお金をチャージ・入金して、その額面の商品やサービスを購入することができます。

即時払い

- デビットカード
- 購入すると同時に金融機関口座からお金が引き落とされる。

後払い

- クレジットカード
- 買い物の後日、金融機関口座からお金が引き落とされる。手元にお金が無くても買い物ができる。

●スマートフォン決済 (〇〇ペイ)

スマートフォンを専用端末にかざしたり、QRコード※やバーコードを読み取って支払う。専用のアプリをインストールし、支払方法を選択し登録しておく。アプリによって事前にチャージするものや、金融機関口座やクレジットカードを紐づけるもの、前払い・即時払い・後払いを選べるものもある。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です

■ クレジットカードのしくみと注意点

● 契約関係が複雑なクレジットカードについて正しく理解しましょう。

「クレジット」とは「信用」という意味です。クレジットカードを使うのは、クレジット会社に「借金」していることと同じです。

クレジットカードを発行する会社は、返済能力など審査をして「支払いができる」と認めた人と会員契約を結びます。

クレジットカードを利用して買い物をすると、消費者はお店(加盟店)と売買契約を結び、クレジット会社と立替払契約を結んでいます。



● クレジットカードの支払い方法

支払い方法には主に「一括払い」「分割払い」「リボルビング払い(リボ払い)」があります。分割払いやリボ払いは手数料がかかり、一括払いより支払額が高くなります。特にリボ払いは毎月一定額を支払うため、追加利用するといくら借り入れているのか分かりにくくなるおそれがあります。

支払い方法		手数料(利息)
一括払い	全額を1回で返済する。 1回払い、ボーナス1回払いなど。	手数料なし。
分割払い	購入のたびに支払い回数を決めて支払う。 3回払い、6回払い、12回払い、24回払いなど。	購入金額と支払い回数に応じた手数料がかかる。
リボルビング払い (リボ払い)	毎月一定額+手数料を支払う。 ※「定額方式」の場合。その他「元利定額方式」「残高スライド方式」「定率方式」などもある。 たとえば 実質年率15%で20万円の商品を購入し、毎月5,000円ずつ返済したら ●支払回数 40回 ●支払総額 248,667円	利用残高に応じた手数料がかかる。

※リボ払いについては日本クレジットカード協会の各ウェブサイトより試算した数値を使用。実質年率15%。算出方法等の違いにより実際の金額とは異なる場合があります。

● 支払いが遅れてしまったら

支払期日に口座残高が不足すると、延滞になります。延滞を放置したり繰り返したりすると、未払い情報が個人信用情報の事故情報に登録されます。今後ローンの審査が通らない、新たなカードがつかれない、スマホを分割払いで契約できないなどの不利益を受けます。



キャッシング

クレジットカードのキャッシング枠を利用してATM(現金自動預払機)・CD(現金自動支払機)から「現金」を借りることです。多くのカードにキャッシングできる機能がついています。手数料がかかります。

個人信用情報機関とは

銀行やクレジット会社などは、ローンやクレジットの申込みがあると、申込者の信用状態を調査します。

利用者個人の信用情報を相互に交換するしくみ(=個人信用情報機関)を作っています。

- ・全国銀行個人信用情報センター
- ・(株)シー・アイ・シー(CIC)
- ・(株)日本信用情報機構(JICC)

クレジットカード利用の留意点

- 返済期日は厳守する。
- 利用明細は毎月必ず確認する。
- クレジットカードの利用は確実に返済できる金額まで。金利や返済総額を必ず確認する。
- 紛失や不正利用がわかったら、すぐにクレジット会社と警察に届ける。
- クレジットカードの利用は本人のみ。たとえば家族であっても暗証番号、セキュリティコードは教えない。